

箇所別PDCAサイクル【No. 36大月橋東詰】

Plan (計画)

交通状況

大月橋東詰交差点(主要渋滞ポイント)では、国道20号と国道139号の交差点にあたり、交通集中による渋滞が発生。

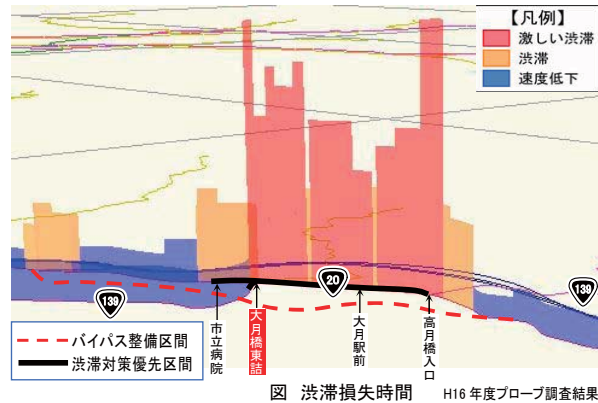


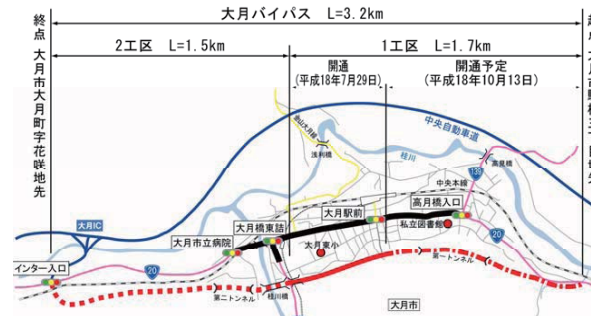
写真 大月橋東詰交差点から大月橋を望む



写真 大月橋入口付近から東京方面を望む

Action (反映)

今後の取り組みの整理



◆取り組みの視点

- 旅行速度の更なる向上をめざす。
- 渋滞損失時間の更なる削減をめざす。
- 裏道に流入する交通量を減らす。

◆今後の対策方針

- 大月バイパス2工区の早期開通

評価結果の公表

国土交通省 関東地方整備局

大月バイパス部分開通一年後の結果
 交通状況の改善を85%の方が実感

記者発表資料 (速報レポート)
 平成18年7月29日に国道20号大月バイパスが部分開通してから一年が経ちました。一年後の交通状況は、8月4日(土)に実施した大月バイパスのアンケート結果を公表します。

○国道20号大月バイパスの一工区部分開通から一年後の状況
 ・大月バイパスの利用が顕著に増加
 ・大月東小学校周辺の裏道の交通量は、一年後の現在も引き続き少ない
 ・仮道、大月市立図書館周辺の裏道は、抜け道としての利用が多い

○交通状況が良くなったと感じた方が85%
 ・大月バイパスの開通により、「渋滞が減って通しやすくなった」と感じる方が多数
 ・アンケートで寄せられた主な意見として、未開通区間の早期開通に加え、事故発生箇所や危険箇所の改善を望む声も

○かがが火災り：国道20号開通の歩行者天国は今年も好評
 ・アンケートの結果、約80%の方が歩行者天国の実施に満足しており、25%の方がさらに区間を延ばして欲しいと回答

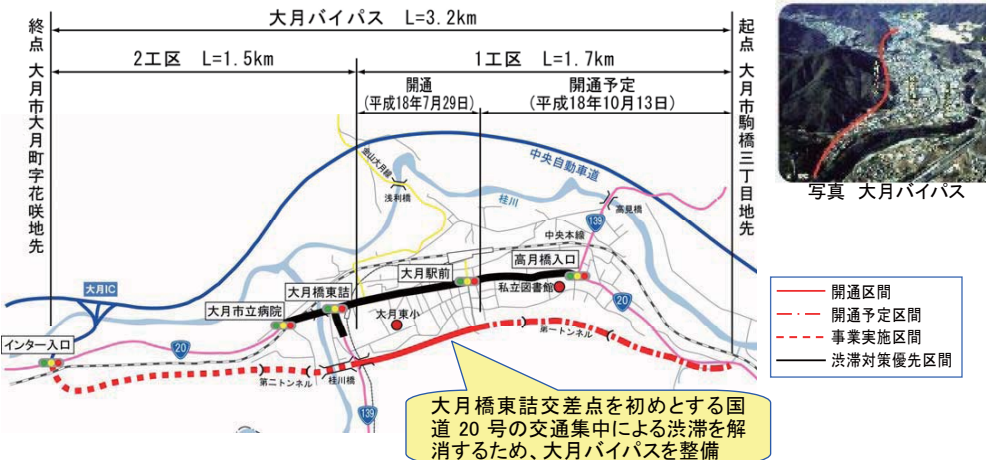
平成18年8月9日
 国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所
 山梨県記者クラブ
 関係者
 国土交通省関東地方整備局 甲府河川国道事務所
 中野議員 課 電話(375) 5277(5)
 (055-254-9271)~2-2500-9259-9395 FAX:055-254-9235 email:rs13@ktr.mhl.go.jp

Do (実施)

対策の実施(大月バイパス)

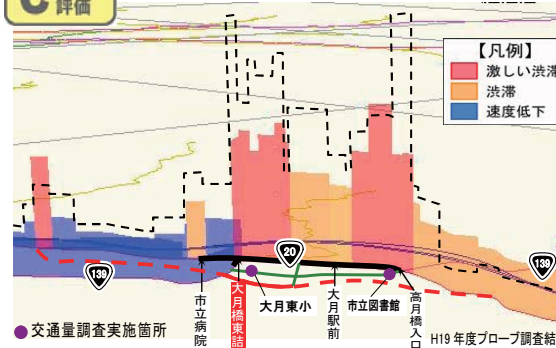
●大月バイパスの整備

⇒大月橋東詰交差点をはじめとする国道20号現道の交通分散を図る。

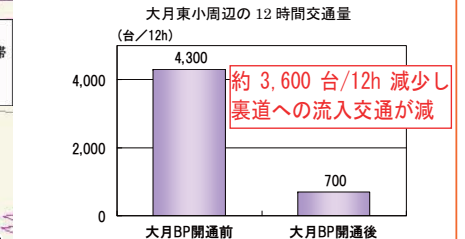


Check (評価)

対策・取り組みの評価



大月BP開通区間に並行する裏道の交通は減



一方、大月BP未開通区間(市立図書館付近)では、裏道交通は約3,100台/12hで依然残存 ※H19.7現在

- 対策優先箇所抽出条件による評価:
 ⇒旅行速度が20km/hをクリアしたか? →判定:○(V=21.4km/h)
 ⇒渋滞損失が上位1割から外れたか? →判定:×(207.1千人時/km・年)
- 新たな課題の発生の有無:バイパス端部交差点における交通集中
 ⇒判定:× 残存する未開通区間の裏道に流入する交通
 バイパス端部交差点における交通集中

箇所別PDCAサイクル【No. 8十郎橋西(向町)、No. 21山梨厚生病院付近】

Plan (計画)

課題の把握

- ・十郎橋西交差点(主要渋滞ポイント)では、観光時に著しい速度低下が発生。
- ・山梨厚生病院付近では、朝夕の通勤時間帯に激しい渋滞が発生している。

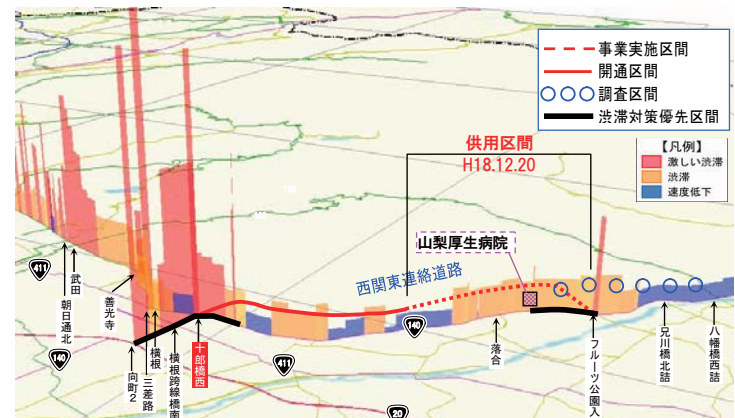


写真 十郎橋西交差点から山梨市方面を望む



写真 山梨厚生病院付近から甲府市方面を望む

図 渋滞損失時間(国道140号) H16年度プローブ調査結果

今後の取り組みの整理

◆取り組みの視点

- ・十郎橋西交差点の交通渋滞解消
- ・残存する国道140号の交通渋滞解消

◆今後の対策方針

- ・十郎橋西交差点の交通状況を把握し、効果的な対策を検討
- ・西関東連絡道路の事業継続
- ・新山梨環状道路北部区間の早期事業化
- ・和戸町電王線の延伸
- ・城東II期バイパスの整備

Action (反映)

評価結果の公表

記者発表資料

140 西関東連絡道路の整備効果について

- ・平成18年12月20日に、西関東連絡道路(桜井ランプ～万カラア)が開通となりました
- ・開通1ヶ月後に整備効果を調査しましたので報告致します

○開通による効果

- ・現道(笛吹市春日居町鎮目地内)の昼間交通量が約5割削減(約1万5千台→約7千台)
- ・現道の走行速度が最大約16km/h向上(32km/h→48km/h)
- ・渋滞損失額が年間に換算すると約17億円減少(約39億円→約22億円)
- ・CO2排出量が年間約1,100t削減

平成19年3月5日
山梨県 土木部

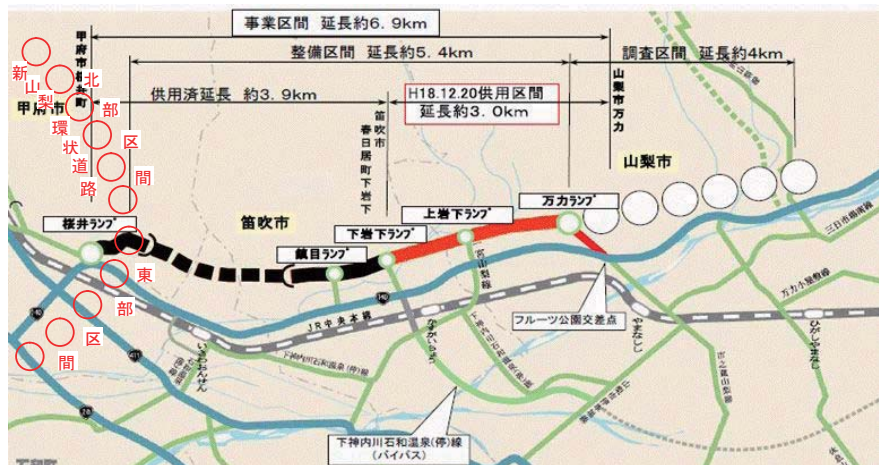
農政記者クラブ
山梨県政記者クラブ
問合せ先
山梨県 土木部 道路整備課 国造・橋本担当
課長補佐 宇野 副課長 丸山
副主幹 丸山
(TEL:055-223-1887 Fax:055-223-1893)

Do (実施)

対策の実施

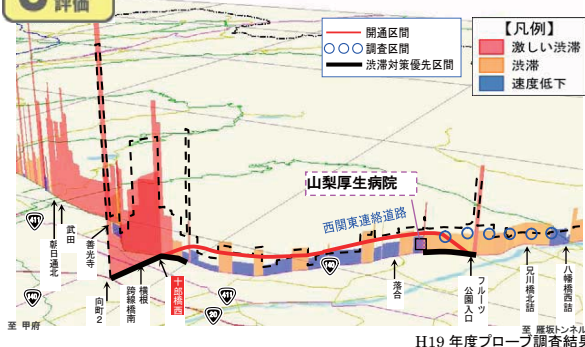
●西関東連絡道路の整備

⇒国道140号(甲府市～山梨市間)の交通集中による渋滞解消を図る



Check (評価)

対策・取り組みの評価



◆十郎橋西交差点での新たな課題

西関東連絡道路へ向かう左折車が増加し、学生などの歩行者が多い。

左折車の滞留により、渋滞発生

(主)甲府駅南基盤幹線

- 対策優先箇所抽出条件による評価:
⇒旅行速度が20km/hをクリアしたか? →判定:○(V=48km/h)
⇒渋滞損失が上位1割から外れたか? →判定:×(867.1千人時/km・年)
- 新たな課題の発生の有無:
⇒判定:× ・左折車増加に伴う交差点への影響(十郎橋西)
・未整備区間の国道140号の渋滞の残存(フルーツ公園入口交差点)